

服用しながら処置可能



【問い】抜歯した方がよい歯があると、かかりつけの歯科医師から言われました。血液の流れを良くする薬を飲んでいるのですが、大丈夫なのでしょうか。(長崎市、64歳男性)

【答え】高齢社会が進み、心筋梗塞や脳梗塞など血栓(血の塊)により生じる病気を予防するために、血液をサラサラにする「経口抗血栓薬」を服用する方が増えています。また、心臓の人工弁置換や先天性心疾患の手術を受ける方は、歯周病やむし歯など口の中に感染症があると、術後に微生物が心臓に付着し、重篤な感染性心内膜炎を引き起こす可能性もあります。抜歯や歯石除去の際は事前に抗生剤を服用する必要がありますので、最新の検査値やお薬手帳の内容を把握された上で受診することをお勧めします。

経口抗血栓薬には血小板の働きを抑える「抗血小板薬」と、血液凝固因子の働きを抑える「抗凝固薬」の2種類があります。心筋梗塞、脳梗塞など動脈で起こる血栓症では主に抗血小板薬が使われ、人工弁置換術後や深部静脈血栓症、血流の乱れやうっ血による血栓症では主に抗凝固薬が使われています。「ワトファリン」という薬を使っている方には、抜歯や外科処置の際に術中・術後の出血が懸念されるため薬の使用を中止してもらうことが慣習化していました。近年、治療ガイド

ラインが見直され、PTRIIN Rという国際標準の止血時間検査値が治療可能域に安定している場合は、服薬を継続したまま抜歯など出血を伴う処置を行えるようになりました。しかし、中には出血の不安の大きさから自己判断で休薬してしまう患者さんがいらっしゃいます。薬の中止、減量に伴い血栓症や塞栓(そくせん)症の危険性は当然高まります。医師、歯科医師とよく相談しましょう。

抗血栓薬と抜歯

回答者

坂本慶一郎

長崎市西海町
琴海歯科医院院長



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。